

# 歯の健康

	国	北海道	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	茨城	栃木
	歯の健康	歯と口腔		口腔保健	歯科					
◎60歳における20歯以上の自分の歯を有する者の割合及び60歳における24歯以上の自分の歯を有する者の割合の増加	80歳における20歯以上の自分の歯を有する者の割合11.5→20.0以上	75-84歳20歯以上 33→20.0以上55-64歳で24歯3.5→50.0以上	75-84歳20歯以上18.18→20.0 以上55-64歳で24歯以上40.30→50.0以上	65歳以上20歯以上11.8→20.0以上	60歳20歯以上18.9→20.0以上	60歳代20本追加調査60歳代24本35.4→増加		80-84歳20歯11.8→20.0 60歳43.9→50.0		不明→未設定
60-64歳で不自由なく何でも食べられる人の増加				42.0→50.0以上						
◎65歳以上の高齢に必要な人の教員未達者、未使用者の割合 一人平均喪失歯数						52.4→減少				
1人平均現在歯数の増加			72.0→35.0以下							
◎定期的歯科検診を受けた者の割合の増加 ◎定期的歯科検診を受けた者の割合の増加 過去1年に定期的な歯石除去、歯面清掃を受けた者の割合の増加 60歳以上の定期的な歯石除去、歯面清掃を受けた者の割合の増加	55-64歳15.9→30.0以上					40歳以上20.7→70.0		50代17.2 60代17.1→25.0		
◎定期的歯科検診を受けた者の割合の増加 過去1年に歯科検診を受けた者の割合の増加	55-64歳16.4→30.0以上	55-64歳10.4→30.0以上				40歳以上38.0→100.0		60歳今後調査→2倍以上		
◎市町村における総合健康診査における歯科検診の実施率の増加 ◎歯周疾患検診、または成人歯科検診を実施している市町村数の増加 100人以上の規模の事業所での歯科検診実施率の増加				57.6→100					15→44市町村	
15歳以上における年1回定期検診を受けている者の割合の増加 一般事業所での歯科検診実施割合を増やす 年2回歯科検診を実施している学校の数 市町村における2歳児歯科検診実施率の増加				15.5→30.0以上					今後調査→2倍以上	
◎幼児歯科検診後のフォロー事業実施市町村数 従業員100人以上の一般事業所での歯科検診 全ての特別養護老人ホーム、養護老人ホームでの定期歯科検診の実施 歯科検診を希望する障害者施設すべてが歯科検診を実施			15.60→30.0以上							
◎定期的に歯科を受診する者の割合 ◎定期的に歯科を受診する市町村数 成人を対象とした歯科検診を実施している市町村数										
◎3歳児における乳歯の落下の割合の増加 2歳児のう蝕有病率の減少 3歳児におけるう蝕有病率の低下 6歳でむし歯がある人のうち重症者の減少 3歳児のむし歯保有率の減少 3歳児一人平均う蝕数 5歳児のう蝕有病率の減少 5.5歳児のむし歯罹患率 6歳児のむし歯を減らす 7歳児のむし歯を減らす 乳歯のう蝕のない子供 永久歯のう蝕のない子供	59.5→80.0以上	57.3→80.0以上	42.8→70.0以上	48.4→70.0以上		43.9→70.0	45.6→80.0以上	50.2→70.0以上		58.1→80.0以上
◎幼児でう蝕のない者の割合の増加 5-6歳児の第一大臼歯のう蝕罹患率(萌出している第一大臼歯が歯になっていない人当たりむし歯数)			1.5歳児92.64→96.0以上	1.5歳児93.7→95.0以上						
◎乳歯のう蝕のない子供の割合 1人当たりむし歯数			1.5歳児0.24歯→0.12歯以下3歳児2.96歯→1.6歯以下			3歳児2.76→1本以下				
◎むし歯のない児童生徒の割合			小14.56→30.0以上中17.24→30.0以上高10.69→20.0以上	12歳児26.4→50.0						
◎12歳児における1人平均う蝕数(DMF歯数) 2歳以上乳歯のある生徒の割合 12歳児の永久歯1人平均のう蝕数の減少 12歳児のむし歯のない者 12歳児における歯肉に炎症所見の認められる子どもの割合 12-14歳児における歯肉に所見の認められない子どもの割合 15歳児における1人平均う蝕数(DMF歯数)の減少 1.5歳児検診で1人平均う蝕歯0本にする 3歳児の1人平均う蝕歯 12歳児における1人平均う蝕歯 15歳児の1人平均う蝕歯数を減らす 30歳児における1人平均う蝕歯 小学生のう蝕有病率の減少 中学生のう蝕有病率の減少 う蝕予防のためのフッ素塗布の実施 昼食後の歯磨きを実施している学校の割合	3.1歯→1歯以下	3.1歯→1.5歯以下	2.98→1.5		3.91本→2本	2.3→1本以下	3.1→2本		3.3歯→1歯以下	
◎3歳までにフッ化物歯面塗布を受けたことのある者の割合の増加 5歳までにフッ化物歯面塗布を定期的に行っている者の割合 3歳までにフッ化物歯面塗布を3回受けたことのある者の割合の増加 少年期にフッ化物歯面塗布を受けたことのある者の割合 乳児期にフッ化物歯面塗布を受けたことのある者の割合 乳児期のフッ化物歯面塗布事業実施市町村数の増加	39.6→50.0以上		29.0→40.0以上	39.6→50.0以上			1.5歳児23.0→50.0以上			小学校81.2→90.0中学校36.7→50.0高校1.0→20.0
◎学齢期におけるフッ化物配合歯磨剤使用者の割合の増加 フッ化物配合歯磨剤使用者の割合の増加 フッ化洗口法実施施設数 フッ化洗口法実施施設数 歯面でフッ素洗口を実施している施設の数を増やす フッ素洗口を実施している市町村数	45.6→90.0以上	54.9→90.0以上								
フッ化物応用等、科学的根拠に基づき歯科疾患予防法の情報の提供と普及啓発 保育園・幼稚園におけるフッ化洗口の普及拡大										



# 歯の健康

	歯の健康	歯と口腔	口腔保健	歯料					
歯科医師のいるすべての市町村に障害者歯科保健相談室を設置									
市町村への歯科衛生士配置数									
母子保健推進委員									
歯周病及び抜出した歯根面のむし歯予防のための予防処置を受ける人の割合									
60及び70歳で親土の名産を不自由なく食べている人の割合の増加								今後調査→2倍以上	
酢ダコや古たくわんを噛むことができる人の増加									
小中学校の学校保健委員会が歯と口の健康づくりテーマに掲げ上げる学校の増加								小61.0→90.0以上中40.0→80.0以上	
CO、GOの孝へ個別指導をしている学校保健者に対する歯科保健教育を実施する学校									
年1回以上歯科保健指導をしている小学校の数を増やす									
盲役から歯の健康に注意している人の割合の増加									
セルフチェックをしている人の増加									
幼年期における毎日に毎日仕上げ磨きを受ける者の割合の増加			70.0→90.0以上						
週に1回以上子どもの歯と口腔を観察している保護者の割合									
子供の仕上げ磨きを毎日する保護者									
正しい歯磨きの方法を知っている人の割合									
就寝時に授乳する習慣を持つ幼児の割合									
歯の健康に関する学習の場を提供する市町村数									
歯の健康に関する情報提供を行っている市町村数									
成人の健康教育を行っている市町村数を増やす									
喫煙で病気にかかりやすくなると思う人の割合を増やす									
糖尿病で歯周病が進行しやすいことを知っている人の割合を増やす									
月に一回以上歯や歯肉の自己観察をしている人の割合									
自分の歯の数を知っている人の割合									
歯の健康度指数16点以上									
大臼歯のフィッシャーシーラントの処置を受けた者の割合								201→増加	
むし歯罹患率									
重度歯周病(CPI 3以上)に罹っている者の割合の減少				15-24歳2.5→2.0 25-44歳29.6→26.0 45-64歳38.4→34.0					





# 歯の健康

	歯と口の健康	歯科保健	歯と口腔の健康づくり	徳島県	新徳島	富山県	石川県
歯科医師のいるすべての市町村に障害者歯科健康相談室を設ける							
市町村への歯科衛生士配置数		11市→全市町村					
母子保健推進委員							
歯周病及び露出した歯根面のむし歯予防のための予防処置を受ける人の割合	不明→30以上						
60及び80歳で郷土の名産を不自由なく食べている人の割合の増加							
新ダコや古たくわんを噛むことができる人の増加							
小中学校の学校保健委員会で歯と口の健康づくりをテーマに取り上げる学校の割合							
CO2の削減に貢献している学校保健委員に対する歯科保健教育を実施する学校							
年1回以上歯科保健指導をしている小学校の数を増やす							
盲検から歯の健康に注意している人の割合の増加							
セルフチェックをしている人の増加							
幼年期における歯に毎日仕上げ磨きを受ける者の割合の増加							
週に1回以上子どもの歯と口腔を観察している保護者の割合			15歳児78.1 3歳児80.2 5歳児69.4 6歳児65.5→90.0以上				
子供の仕上げ磨きを毎日する保護者							
正しい歯磨きの方法を知っている人の割合							
就寝時に授乳する習慣を持つ幼児の割合							
歯の健康に関する学習の場を提供する市町村数							
歯の健康に関する情報提供を行っている市町村数							
成人の健康教育を行っている市町村数を増やす							
喫煙で病気がかかりやすくなると思う人の割合を増やす							
糖尿病で歯周病が進行しやすいことを知っている人の割合を増やす							
月に一回以上歯や歯肉の自己観察をしている人の割合			20-39歳73.9→90.0以上 小学高学年68.5中学生70.8→90.0以上				
自分の歯の数を知っている人の割合			20-39歳63.1→70.0以上				
歯の健康度指数16点以上							
大臼歯のフィッシャーシーラントの処置を受けた者の割合							
3.5.歯種数率							
歯周病(CPI 3以上)に罹っている者の割合の減少							

# 歯の健康

項目	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値
①60歳における20歯以上の自分の歯を有する者の割合及び60歳における24以上の自分の歯を有する者の割合の増加		75-84歳20歯以上15.0以上 55-64歳24歯以上45.0以上	80歳20歯以上 4.5-20.0以上 60歳24歯以上33.0-50.0以上	80歳20歯以上 28.6-40.0以上60歳24歯以上55.0-60.0以上	80歳で20歯以上 14.2-20.0以上	80歳20歯以上9.4-32.0以上	60-64歳20歯50.0-95.0以上 80-84歳21.4-43.0以上	60歳24歯以上32.1-50.0以上
60-64歳で不自由なく何でも食べられる人の増加 中年期(45-64歳)における24歯以上有する者の割合の増加 65歳及び80歳での無歯顎者の割合の減少								
無歯顎者の減少	65歳以上25.0減少							
65歳以上の義務が必要な人の義務未遂者、未使用者の割合 二人平均喪失歯数	4.87-4本以下							
1人平均現在歯数の増加								
義歯の不適合な人の割合(義歯適合率) 失った歯について入れ歯などによる治療が済んでいる人の割合								
⑥定期的に歯石除去や歯面清掃を受けた近頃歯の割合の増加 過去1年に定期的に歯石除去や歯面清掃を受けた者の割合の増加 60歳での定期的な歯石除去、歯面清掃受診者の割合の増加	18.1-35.0以上	55-64歳8.3-30.0以上						
⑦定期的に歯科検診を受ける者の割合の増加 過去1年に歯科検診を受けた者の割合の増加	19.5-35.0以上	12.6-30.0以上	60歳39.2-50.0以上	25-64歳16.3-30.0以上	13.8-27.0以上		40代11.8 50代10.4-30.0以上	
市町村における総合健康診査における歯病検診の実施率の増加 歯病検診、または成人歯科検診を実施している市町村数の増加 100人以上の規模の事業所での歯科検診実施率の増加 15歳以上における年1回定期検診を受けている者の割合の増加 一般事業所での歯科検診実施割合を増やす 年2回歯科検診を実施している学校の数 市町村における2歳児歯科検診実施率の増加 幼児歯科検診後のフォロー事業実施市町村数 従業員100人以上の一般事業所での歯科検診 全ての特別養護老人ホーム、養護老人ホームでの定期歯科検診の実施 歯科検診を希望する障害者施設すべてが歯科検診を実施 定期的に歯科を受診する人の割合 定期歯科検診を実施する市町村数 歯科検診を実施している事業所数 成人を対象とした歯科検診を実施している市町村数								50市町村100.0 28.0-50.0以上 25.0-100.0 12.0-100.0 19市町村-50市町村100.0
⑧服用している歯の割合の増加 2歳児の乳歯脱落の減少 3歳児における歯の脱落率の低下 3歳でむし歯がある人のうち重症の人の減少 3歳児のむし歯原歯数の減少 3歳児一人平均歯数 5歳児のむし歯有歯率の減少 5歳児のむし歯罹患率 6歳児のむし歯を減らす ラベリング型 乳歯のむし歯のない子供 永久歯のむし歯のない子供 幼児でむし歯のない者の割合の増加 5-6歳児の第一大臼歯のむし歯罹患率(萌出している第一大臼歯がむし歯になっている1人当たりむし歯数) ラベリング型幼児の割合 むし歯のない児童生徒の割合	50.8-70.0以上	63.6-80.0以上	70.0-90.0以上		68.5-90.0以上	56.7-78.0以上	61.1-80.0以上	
⑨服用している歯の割合の増加(DMF値) 9歳以上むし歯のある生徒の割合 12歳児の永久歯1人平均のう歯数の減少 12歳児のむし歯のない者 12歳児における歯肉に炎症所見の認められる子どもの割合 12-14歳児における歯肉に所見の認められない子どもの割合 15歳児における1人平均歯数(DMF値)の減少 15歳児歯数で1人平均むし歯0本にする 3歳児の1人平均むし歯 12歳児における1人平均むし歯 15歳児の1人平均むし歯数を減らす 30歳児における1人平均むし歯 小学生のう歯有歯率の減少 中学生のう歯有歯率の減少 う歯予防としてフッ素塗布の実施 昼食後の歯磨きを実施している学校の割合	3.50本-3本	3.47歯-2歯以下	2.3本-1.0本以下	2.63歯-1歯以下	中 9.1-0.0	2.7本-1歯以下	3.44歯-1歯以下(学齢期)	2.63本-1.0本以下 25.0-50.0以上
⑩3歳まで(3歳)フッ化物歯面塗布を受けたことのある者の割合の増加 3歳までフッ化物歯面塗布を定期的に受けている者の割合 3歳までフッ化物歯面塗布を3回受けたことのある者の割合の増加 少年期にフッ化物歯面塗布を受けたことのある者の割合 乳児期にフッ化物歯面塗布を受けたことのある者の割合 乳児期のフッ化物歯面塗布事業実施市町村の増加	19.5-30.0以上		基準値なし(今後調査)→増加			2歳児52.8-85.0以上	23.0-40.0以上	
⑪学齢期におけるフッ化物配合歯磨剤使用者の割合の増加 フッ化物配合歯磨剤使用者の割合の増加 フッ化シリカ歯磨剤使用率 フッ化シリカ歯磨剤使用率 換口でフッ化シリカを実施している施設の数を増やす フッ化シリカを実施している市町村数	90.0以上	41.9-90.0以上	23施設→増加	6.4→増加			不明-90.0以上	
フッ化物応用等、科学的根拠に基づき歯病予防法の推進の推進と普及啓発 歯病予防法推進に関する調査報告書 歯病予防法推進に関する調査報告書 歯病予防法推進に関する調査報告書								

# 歯の健康

項目	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県
小中学校におけるフッ化洗口の普及率	増加					2校→200校以上		
定期検診にフッ化歯面塗布を受けた幼児の割合					39市町村→全市町村		33.3→67.0以上	
フッ素歯磨き粉を毎日使用する割合								
1.5歳以前に母乳、哺乳瓶を卒業するものの割合								
④朝食として甘味食品・飲料を1日3回以上摂取する割合の増加			基準値なし(今後調査)→減少					13.0→5.0以下に
おやつと同様に間食がある幼児の割合						16.0→8.0以下		
おやつの内容に間食がある幼児の割合						23.0→12.0以下		
よく飲む飲み物に間食がある幼児の割合						39.0→20.0以下		
1.5歳以上3歳未満の幼児におけるおやつとして甘いものをとる回数が1日2回以下である者の割合								
間食として甘味食品・飲料を頻回摂取する割合		減少						
幼児期・少年期において間食として甘味食品・飲料の時間や回数を決めている親の割合								
間食の時間を決めている親の割合								
間食が1日2回以下の者の割合								
毎食甘味食品を摂取する者の割合								
おやつを頻回食べている者の割合								
よく頻回で食べる習慣を身につける割合								
④学齢期における過去1年間に個別指導を受けた者の割合	不明→30.0以上							
20-64歳で過去1年間に正しい歯磨きの仕方について指導を受けた者の割合								
過去1年間に個別指導を受けた者の割合			基準値なし(今後調査)→増加					
定期的に個別指導を受けた者の割合								
歯間部清掃を受けた者の割合								
少年期において過去2年間に個別指導を受けた者の割合								
1日2回以上歯を磨く人の割合								
毎食後歯を磨く人の割合								
毎日正しい歯磨きを行っている人の割合								
1日1回は十分な時間をかけて歯を磨く人の割合								
1日1回以上歯を磨く子供の割合								
専門的なブラッシング指導を受けたものの割合								
④40-50歳に該当する歯周病に罹患している者の割合	不明→30.0以上の減少		40歳63.3 50歳76.2→30.0以上減少	40歳42.3→30.0以下50歳36.6→40.0以下	45-54歳60.7→33.0以下	40歳21.0→10.0以下50歳32.0→16.0以下	35-44歳20.8→10.0以下45-54歳28.0→14.0以下	ベースラインなし→減少させる
進行した歯周病を罹患している者の割合								
歯肉に炎症を有する中高生の割合								
中1で歯肉に所見のある者の割合								
中2で歯肉に所見のある者の割合								
歯茎がはれることのある者の割合							34.8→12.0以下	
歯茎が赤くなることのある者の割合							39.4→20.0以下	
歯肉の腫れ・出血及び治療を受ける児童生徒の割合								
④40-50歳に該当する歯間部清掃器具を使用している者の割合	35-44歳42.9→60.0以上 45-54歳39.9→60.0以上							40代28.8 50代26.0→50.0以上
15歳以上における歯間清掃器具(フロス・歯間ブラシ)を使用する者の割合								
歯間部清掃器具を使用する人の割合						16.0→32.0以上	29.0→73.0以上	
週に1回フロスを使用している子どもの割合								
④喫煙が及ぼす健康影響についての知識の普及	たばこ参照			歯周病504→1000		歯周病162→1000		
妊婦への禁煙指導実施率(市町村・医療機関)								
禁煙補助薬を併用し禁煙指導を実施している医療機関の割合								
禁煙、節煙を希望する者に対する禁煙支援プログラムを全ての市町村で受けられるようにする	たばこ参照					10.3→100.0		
喫煙者の減少								
喫煙率								
たばこ対策の充実								たばこ参照
30歳以上で歯や口腔に関して悩みがある人の割合								
歯周疾患予防に取り組む市町の増加								
訪問口腔衛生指導を実施する市町村								
歯科保健教育を実施する市町村								
歯周疾患検診実施区市町村数								
障害児(者)の訪問口腔衛生指導を実施する市町村								
口腔ケアを介護教室で取り上げる市町村数の増加								
40歳以上の歯科健診を実施する市町村数の増加								
ふくめ歯科健診の実施市町村								9市町村→50市町村100.0
新目の歯科健診と定期的な歯科健診を受ける人の割合								
かかりつけ歯科医をもつ割合			基準値なし→30.0以上			47.1→90.0以上	69.0→95.0以上	
相談できる歯科医をもっているものの割合								
定期健診や予防処置をしてくれるかかりつけ医がいる子どもの割合								
口腔ケアを行う介護者の割合								
6020運動の内容を知っている者の割合			31.4→50.0以上			50.5→100.0	45.5→91.0以上	
6020達成率の増加								
6024達成率の増加								
歯の健康に関する学習の場の増加			不明→増やす					
歯の健康に関する学習や活動の場を提供する割合								
9歳以前の親への歯の健康教育実施市町村数の増加					不明→99市町村			
行政機関の歯科技術者の配置								
各種施設における協力歯科医療機関の配置								



# 歯の健康

歯の健康		歯の健康		歯の健康		歯の健康	
歯の健康		歯の健康		歯の健康		歯の健康	
歯科医師のいるすべての市町村に障害者歯科保健相談員を配置							21市町村→50市町村1000
市町村への歯科衛生士配置数							
母子保健指導委員							
歯周病及び齲蝕した歯根面のむし歯予防のための予防処置を受ける人の割合							
60及び80歳で歯土の名産を不自由なく食べている人の割合の増加						849→95.0以上	
餅ダコや古たくわんを噛むことができる人の増加							
小中学校の学校保健委員会で歯と口の健康づくりをテーマに取り上げる学校の数							
CO、COの若手個別指導科に於ける学校保健者に対する歯科保健教育を実施する学校							
年1回以上歯科保健指導をしている小学校の数を増やす							
盲校から歯の健康に注意している人の割合の増加							
セルフチェックをしている人の増加							40代51.750代48.4→70.0以上
幼年期における乳歯に毎日仕上げ磨きを受ける者の割合の増加							
週に1回以上子どもの歯と口腔を観察している保護者の割合							
子供の仕上げ磨きを毎日する保護者							
正しい歯磨きの方法を知っている人の割合		不明→1000					
就労時に授乳する設備を持つ幼保の割合							
歯の健康に関する学習の場を提供する市町村数							
歯の健康に関する情報提供を行っている市町村数							
成人の健康教育を行っている市町村数を増やす							
喫煙で病気にかかりやすくなると思う人の割合を増やす							
糖尿病で歯周病が進行しやすいことを知っている人の割合を増やす							
月に一回以上歯や歯肉の自己観察をしている人の割合			49.1→70.0				
自分の歯の数を知っている人の割合							
歯の健康度得点16点以上					28.0→56.0以上	29.0→73.0以上	
大臼歯のフィッシャーシーラントの処置を受けた者の割合							
むし歯罹患者							
重度歯周病(CPⅢ以上)に罹っている者の割合の減少							

# 歯の健康

項目	京都市	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	高知県
①歯の健康づくり・多量飲酒者の減少							
60歳以上の歯の健康に関する調査結果	60代で24本以上 46.0→50.0以上	80歳で20本以上の歯15.3→20.0以上 60歳で24歯以上44.1→50.0以上	75-84歳20歯以上 11.5→20.0以上55-64歳 で24歯以上44.1→50.0以上	80歳20歯以上11.5→20.0 以上60歳24歯以上 44.1→50.0以上	80代20歯以上22.2→30.0以上60代24歯以上 48.5→55.0以上50代25歯以上69.0→75.0 以上30代25歯以上74.9→80.0	40歳27本→27本以上60歳15本 →22本以上70歳3本→15本以上 80歳1.9本→12本以上	
60-64歳で不自由なく何でも食べられる人の増加							
中年期(45-64歳)における24歯以上有する者の割合の増加							
65歳及び80歳での無歯顎者の割合の減少							
無歯顎者の減少							
65歳以上の歯槽が必要となる人の歯槽未萎縮者、未使用者の割合							
一人平均喪失歯数							
1人平均現在歯数の増加							
義歯の不適合な人の割合(要介護高齢失った歯について入れ歯などによる治療が滞っている人の割合)							
②定期的な歯石除去・歯面清掃を受けた30歳以上の者の割合の増加			55-64歳20.6→30.0以上	8.3→30.0以上	6.47→30.0以上		
過去1年に定期的に歯石除去や歯面清掃を受けている者の割合の増加		55-64歳16.4→30.0以上					
60歳での定期的な歯石除去、歯面清掃受診者の割合の増加							
③定期的な歯科検診を受けている者の割合の増加	20歳以上21.5→30.0以上		55-64歳18.6→30.0以上		5.9→30.0以上	8.27→30.0以上	
過去1年に歯科検診を受けている者の割合の増加				44.1→80.0以上			
市町村における総合健康診査における歯周病検診の実施率の増加				14市町村→47市町村			
歯周疾患検診、または成人歯科健診を実施している市町村数の増加							
100人以上の規模の事業所での歯科健診実施率の増加							
15歳以上における1回定期検診を受けている者の割合の増加							
一般事業所での歯科健診実施割合を増やす							
年2回歯科健診を実施している学校の数						不明→増やす	
市町村における2歳児歯科健診実施率の増加							
幼児歯科健診後のフォロー事業実施市町村数							
従事員100人以上の一般事業所での歯科健診							
全ての特別養護老人ホーム、養護老人ホームでの定期歯科健診の実施							
歯科健診を希望する障害者施設すべてが歯科健診を実施							
定期的に歯科を受診する者の割合							
歯科健診を受診する市町村数							
歯科健診を受診している事業所数							
成人を対象とした歯科健診を実施している市町村数							
④9歳児におけるう歯のない者の割合の増加		61.7→80.0以上			53.7→70.0以上	3歳児65.3→85.0以上	
2歳児のうち歯有歯率の減少				39.7→20.0以下			
3歳児におけるう歯有病率の低下							
3歳でむし歯がある人のうち重症の人の減少							
3歳児のむし歯保有率の減少	39.0→20.0未満						
3歳児一人平均歯数					2.1歯→1歯以下		
5歳児のうち歯有歯率の減少							
5.6歳児のむし歯罹患率							
6歳臼歯のむし歯を減らす							
う歯罹患率の低下							
乳歯のう歯のない子供							
永久歯のう歯のない子供							
幼児でう歯のない者の割合の増加			3歳児70.6→80.0以上			1.5歳児95.3→100.0	
5-6歳児の第一大臼歯のう歯罹患率(萌出している第一大臼歯から歯になっている)							
1人当たりむし歯数							
う歯のない幼児の割合							
むし歯のない児童生徒の割合							
⑤12歳児における12歳以上の歯数(DMF歯数の減少)	2.4本→1本以下	2.8歯→1歯以下	2.7→1以下	2.9本→1本以下	2.9歯→1歯以下	2.4歯→1歯以下	
9本以上12本の歯のある生徒の割合							
12歳児の永久歯1人平均の歯数の減少							
12歳児のむし歯のない者							
12歳における歯肉に炎症所見の認められる子どもの割合							
12-14歳における歯肉に所見の認められない子どもの割合							
15歳児における1人平均歯数(DMF歯数)の減少							
15歳児検診で1人平均むし歯0本にする							0.5本→0
3歳児の1人平均むし歯							1.9本→1本有病者率39.9→30.0
12歳児における1人平均歯数							2.97→2本以下
15歳児の一人平均むし歯数を減らす							
30歳児における1人平均歯数							12.2→7以下
小学生のうち歯有歯率の減少							
中学生のうち歯有歯率の減少							
う歯予防のための事業の実施							
昼食後の歯磨きを実施している学校の割合							
⑥8歳までにフッ化物歯面塗布を受けたことのある者の割合の増加		39.6→50.0以上	42.0→50.0以上		39.6→50.0以上	16.2→50.0以上	
8歳までにフッ化物歯面塗布を定期的に受けている者の割合							
8歳までにフッ化物歯面塗布を3回受けたことのある者の割合の増加							
少年期にフッ化物歯面塗布を受けたことのある者の割合							
乳児期にフッ化物歯面塗布を受けたことのある者の割合							
乳児期のフッ化物歯面塗布事業実施市町村数の増加				4市町村→47市町村			
⑦学齢期におけるフッ化物配合歯磨剤使用者の割合の増加					45.6→90.0以上		
フッ化物配合歯磨剤使用率の割合の増加	少年期不明→90.0以上	45.6→90.0以上	19.9→90.0以上			不明→90.0以上	
フッ化漱口法実施施設数							
フッ化漱口法実施施設数							
集団でフッ化漱口法を実施している施設の数							
フッ化漱口法を実施している市町村数							
フッ化物応用等、科学的根拠に基づいた歯科疾患予防法の提供と普及啓発							
歯有歯・幼稚園におけるフッ化漱口の普及啓発							



# 歯の健康

	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県
歯科医師のいるすべての市町村に障害者歯科保健相談医を設ける		歯の健康づくり、多量飲酒者の減少				歯科保健	
各市町村への歯科衛生士配置数							
母子保健推進委員							
歯周病及び歯肉炎の歯周病のむし歯予防のための予防処置を受ける人の割合							
60及び80歳で歯土の名産を不自由なく食べている人の割合の増加							
群タコや古たたくわんを噛むことができる人の増加							
小中学校の学校保健委員会と歯と口の健康づくりをテーマに取り上げる学校の増加							
CO.DDの者への個別指導を行っている学校保健者に対する歯科保健教育を実施する学校						不明一増やす	
年1回以上歯科保健指導を行っている小学校の数を増やす						不明一増やす	
盲校から歯の健康に注意している人の割合の増加				49.8~80.0以上			
セルフチェックをしている人の増加							
幼年期における親に毎日仕上げ磨きを愛する者の割合の増加							
週に1回以上子どもの歯と口腔を観察している保護者の割合							
子供の仕上げ磨きを毎日する保護者						不明一増やす	
正しい歯磨きの方法を知っている人の割合							
就寝前に授乳する習慣を持つ幼児の割合							
歯の健康に関する学習の場を提供する市町村数							
歯の健康に関する情報提供を行っている市町村数							
成人の健康教育を行っている市町村数を増やす							
喫煙で病気にかかりやすくなると思う人の割合を増やす							
糖尿病で歯周病が進行しやすいことを知っている人の割合を増やす							
月に一回以上歯や歯肉の自己観察をしている人の割合							
自分の歯の数を知っている人の割合							
歯の健康度得点16点以上							
大臼歯のフィッシャーシーラントの処置を受けた者の割合							
乳歯歯周炎						小学82.5~85.0以下 中学84.7~70.0以下 高校91.3~85.0以下	
重度歯周病(CPI 3以上)に罹っている者の割合の減少							

# 歯の健康

	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県
⑥60歳以上における20歯以上の自分の歯を有する者の割合及び160歳以上における24歯以上の自分の歯を有する者の割合の増加	60歳24歯以上 20.5→40.0以上 60代20歯以上 43.8→60.0以上 70代20歯以上 27.0→40.0以上	80歳以上20歯以上 36.2→40.0以上 60歳24歯以上 62.3→70.0以上	60歳24歯以上 不明→増やす 80歳20歯以上 不明→増やす	60代24歯以上 48.0→50.0	80歳28.3→35.0以上 60歳58.5→70.0以上	国調査60以上 44.1 80以上 15.25→増やす	60歳24歯55.1→60.0以上 80歳20歯30.7→40.0以上	80歳20歯14.1→20.0以上
60～64歳で不自由なく何でも食べられる人の増加								
中年期(45～64歳)における24歯以上有する者の割合の増加								
65歳及び80歳での無歯顎者の割合の減少								
無歯顎者の減少								
65歳以上の残存が必要な人の残存率(義歯未装着者、義歯装着者の割合、二人平均喪失歯数)								
1人平均現在歯数の増加								
残存の不適合な人の割合(要介護高齢者、失った歯について入れ歯などによる治療が滞っている人の割合)								
⑨定期的に歯石除去や歯面清掃を受けたことがある者の割合の増加(歯垢付着防止剤を過去1年に定期的に歯石除去や歯面清掃を受けた者の割合の増加、60歳以上の定期的な歯石除去、歯面清掃受診者の割合の増加)	44.9→50.0以上					50代35.7 60代35.1→10.0増加		
⑩定期的に歯科検診を受けている者の割合の増加(過去1年に歯科検診を受けている者の割合の増加、市町村における総合健康診査における歯周病検診の実施率の増加、歯周病検診、または成人歯科検診を実施している市町村数の増加、100人以上の規模の事業所での歯科健診実施率の増加、15歳以上における年1回定期検診を受けている者の割合の増加、一般事業所での歯科健診実施割合を増やす、年2回歯科検診を実施している学校の増、市町村における2歳児歯科健診実施率の増加、幼児歯科健診後のフォロー事業実施市町村数、従業員100人以上の一般事業所での歯科健診、全ての特別養護老人ホーム、養護老人ホームでの定期歯科健診の実施、歯科健診を希望する障害者施設すべてが歯科健診を実施、定期的に歯科を受診する者の割合、定期歯科健診を実施する市町村数、歯科健診を実施している事業所数、成人を対象とした歯科健診を実施している市町村数)	32.8→50.0以上	59.6→70.0以上	19.0→30.0以上 1.5歳児90.4 3歳児87.5→増やす	過去1年40歳21.7→30.0以上 60歳31.7→40.0以上 60歳32.0→40.0以上			17.0→30.0以上	成人6.2→12.0以上
過去1年に歯科検診を受けている者の割合								
市町村における総合健康診査における歯周病検診の実施率の増加								12.4→50.0以上
歯周病検診、または成人歯科検診を実施している市町村数の増加								
100人以上の規模の事業所での歯科健診実施率の増加								
15歳以上における年1回定期検診を受けている者の割合の増加								
一般事業所での歯科健診実施割合を増やす								
年2回歯科検診を実施している学校の増								
市町村における2歳児歯科健診実施率の増加	80.8→100.0							
幼児歯科健診後のフォロー事業実施市町村数								
従業員100人以上の一般事業所での歯科健診								
全ての特別養護老人ホーム、養護老人ホームでの定期歯科健診の実施								
歯科健診を希望する障害者施設すべてが歯科健診を実施								
定期的に歯科を受診する者の割合								
定期歯科健診を実施する市町村数								
歯科健診を実施している事業所数								
成人を対象とした歯科健診を実施している市町村数								
今後調査後同一増やす								
13→全市町村								
⑪60歳以上における20歯以上の自分の歯の割合の増加		67.1→80.0以上	60.6→80.0以上	47.4→60.0以上		58.0→80.0以上	60.5→80.0以上	67.1→80.0以上
2歳児のうち有歯率の減少	15.2→10.0以下							
3歳児における歯周病罹患率の低下	38.5→30.0以下							
9歳でむし歯がある人のうち重症の人の減少								
3歳児のむし歯罹患率の減少				2.42→2以下				
3歳児二人平均歯数								
5歳児のうち有歯率の減少	69.5→50.0以下							
5.6歳の子どもの歯数								
6歳児のむし歯を減らす								
乳歯のむし歯の低下								
永久歯のむし歯の低下								
幼児でう歯のない者の割合の増加	1.5歳児9.3→2.0以下						1.5歳児9.9→100.0	
5-6歳児の第一大臼歯のう歯罹患率(萌出している第一大臼歯がう歯になっている1人当たりむし歯数)								
う歯のない幼児の割合					3歳児55.9→80.0以上 5歳児13.0→50.0以上			
むし歯のない児童生徒の割合							6歳児(永久歯)12本→0本 12歳児(永久歯)6本→1本以下 17歳児(永久歯)7.8本→3.0本以下	
⑫60歳以上における20歯以上の自分の歯の割合の増加	2.6歯→1歯以下	2.2本→1本以下	2.66歯→1歯	3.05→2.2	2.5歯→1歯以下	男2.40女2.89→2以下		2.9本→1本以下
9本以上1歯のある生徒の割合								
12歳児の永久歯1人平均の歯数の減少								
12歳児のむし歯のない者								
12歳における歯肉に炎症所見の認められる子どもの割合								
12-14歳における歯肉に所見の認められない子どもの割合			27.6→35.0以上					
15歳児における1人平均歯数(DMF歯数)の減少	4.6歯→3歯以下							
15歳児検診で1人平均むし歯0本にする								
3歳児の1人平均むし歯								
12歳児における1人平均歯数								
15歳の一人平均むし歯数を減らす								
30歳児における1人平均歯数								
小学生のうち有歯率の減少	54.3→30.0以下							
小学生のうち有歯率の減少	63.1→50.0以下							
う歯予防のための事業の実施								
昼食後の歯磨きを実施している学校の割合								
⑬6歳までにフッ化物歯面塗布を受けたことのある者の割合の増加	不明→50.0以上	不明→増やす				33.9→80.0以上	20.2→50.0以上	52.3(全国値)→60.0以上
3歳までにフッ化物歯面塗布を定期的に受けている者の割合								
3歳までにフッ化物歯面塗布を3回受けたことのある者の割合の増加								
少年期にフッ化物歯面塗布を受けたことのある者の割合								
乳児期にフッ化物歯面塗布を受けたことのある者の割合								
乳児期のフッ化物歯面塗布事業実施市町村数の増加								
⑭学齢期におけるフッ化物配合歯磨剤使用者の割合の増加	35.3→90.0以上					38.9→80.0以上		
フッ化物配合歯磨剤使用者の割合の増	36.8→50.0以上							小中学生把握→90.0以上
フッ化洗口法実施施設								
歯周病予防法の実施している施設の数を増やす								
フッ化洗口法実施している市町村数								
フッ化物応用等、科学的根拠に基づく歯科検査予防法の根拠の提供と普及啓発								
1.8→25.0以上								



# 歯の健康

	歯・口の健康	歯科疾患					
歯科医師のいるすべての市町村に障害者歯科保健相談医を登録							
市町村への歯科衛生士配置数			1840人→2400人				
歯生保健推進委員							
歯周病及び罹出した歯根面のむし歯予防のための予防処置を受ける人の割合							
60及び80歳で郷土の名産を不自由なく食べている人の割合の増加							
酢タコや古たくわんを噛むことができる人の増加							
小中学校の学校保健委員会で歯と口の健康づくりをテーマに取り上げる学校の数(CO,COの者へ個別指導している学校)							
保健者に対する歯科保健教育を実施する学校							
年1回以上歯科保健指導をしている小学校の数を増やす							
音程から歯の健康に注意している人の割合の増加							
セルフチェックをしている人の増加							
幼年期における親に毎日仕上げ磨きを受ける者の割合の増加							
週に1回以上子どもの歯と口腔を観察している保護者の割合							
子供の仕上げ磨きを毎日する保護者					1.5歳23.6→50.0以上3歳23.8→80.3歳29.8→100.0		
正しい歯磨きの方法を知っている人の割合			54.3→100.0				
幼稚園に授乳する習慣を持つ幼児の割合					1.5歳2歳調査法検討→1.5歳らす37.4<す		
歯の健康に関する学習の場を提供する市町村数	不明→増加				47→全市町村		
歯の健康に関する情報提供を行っている市町村数	不明→増加				47→全市町村		
成人の健康教育を行っている市町村数を増やす							
喫煙で病気にかかりやすくなると思う人の割合を増やす							
糖尿病で歯周病が進行しやすいことを知っている人の割合を増やす							
月に一回以上歯や歯肉の自己観察をしている人の割合							
自分の歯の数を知っている人の割合							
歯の健康度自己点16点以上							
大臼歯のフッシャーシラントの処置を受けた者の割合							
乳歯歯磨剤							
重度歯周病(CPI 3以上)に罹っている者の割合の減少							

# 歯の健康

	ヘルシーマイル(佐賀21)で規定	歯の健康づくり	歯の健康づくり(BO20運動)の推進	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県
60歳以上における20歯以上の自分の歯を有する者の割合及び60歳における24以上の自分の歯を有する者の割合の増加	60歳24本以上43.1→50.0 70歳24本以上29.3→35.0 80歳20本以上25.6→30.0	60歳20本17.0→現状の2倍60歳24本不明→増やす	60歳20歯不明→20.0 60歳24歯50.0	60歳20本11.4→20.0 60歳23本47.6→55.0		75-84歳20歯12.0→20.0以上 55-64歳24歯35.0→50.0以上	60歳20歯以上14.9→20.0以上 60歳24歯以上34.5→45.0以上
60-64歳で不自由なく何でも食べられる人の増加							
中年期(45-64歳)における24歯以上有する者の割合の増加							
65歳及び80歳での無歯顎者の割合の減少							
無歯顎者の減少							
65歳以上の義歯が必要な人の義歯未装着者、未使用者の割合							
二人平均現在歯数の増加							
義歯の不適合な人の割合(要介護高齢者、失った歯について入れ歯などによる治療が滞っている人の割合)							
⑥定期的な歯石除去や歯面清掃を受けた者の割合の増加		過去1年不明→増やす	40歳60歳不明→未設定			55-64歳20.8→40.0以上	50歳代28.0→40.0以上
過去1年に定期的に歯石除去や歯面清掃を受けている者の割合の増加							
60歳での定期的な歯石除去、歯面清掃実施者の割合の増加		過去1年不明→増やす	40歳60歳不明→未設定	20歳上14.4→30.0		55-64歳11.9→40.0以上	
⑥定期的な歯科検診を受けている者の割合の増加							
過去1年に歯科検診を受けている者の割合の増加							
市町村における総合健康診査における歯科検診の実施率の増加				4市町村→58市町村			
歯周疾患検診、または成人歯科検診を実施している市町村数の増加							
100人以上の規模の事業所での歯科検診実施率の増加							
15歳以上における年1回定期検診を受けている者の割合の増加							
一般事業所での歯科検診実施割合を増やす					13年度調査→増やす		
年2回歯科検診を実施している学校の市町村における2歳児歯科検診実施率の増加							
幼児歯科検診後のフォロー事業実施市町村数							
従業員100人以上の一般事業所での歯科検診							
全ての特別養護老人ホーム、介護老人ホームでの定期歯科検診の実施							
歯科検診を希望する障害者施設すべてが歯科検診を実施							
定期的に歯科検診を受ける人の割合							
定期的な歯科検診を実施する市町村数							
歯科検診を実施している事業所数							
成人を対象とした歯科検診を実施している市町村数					9→22市町村		
⑥3歳児における20歯以上の割合の増加	50.6→30.0	43.0→80.0以上	52.7→80.0以上	44.0→80.0	51.3→72.0以上	55.1→30.0以下	
2歳児のうち歯有歯茎の減少							
3歳児におけるう蝕有病率の低下							
3歳でむし歯がある人のうち重症の人の減少							
3歳児のむし歯重症者の数						86.5→30.0	
3歳児一人平均歯数	3.38→1.6						
5歳児のうち歯有歯茎の減少							
5歳児のむし歯重症者							
6歳児のむし歯を減らす							
う蝕重症型BOC型							
乳歯のうち歯のない子供							
永久歯のうち歯のない子供							
幼児でう歯のない者の割合の増加							
5-6歳児の第一大臼歯のうち歯根患率(萌出している第一大臼歯がう歯になっている)							
1人当たりむし歯数				3歳2.6→1.5			
う歯のない幼児の割合							
むし歯のない児童生徒の割合							
⑥12歳児における一人平均歯数(DMF歯数)の減少	3.33→1.6	3.5本→2本以下	3.7歯→1歯以下	3.45本→1本	中1年3.6→1.4以下	4.3本→2.0本	
9本以上むし歯のある生徒の割合							
12歳児の永久歯1人平均歯数の減少							
12歳児のむし歯のない者							
12歳における歯肉に炎症所見の認められる子どもの割合							
12-14歳における歯肉に所見の認められない子どもの割合							
15歳児における1人平均歯数(DMF歯数)の減少							
15歳児検診で1人平均むし歯0本にする							
3歳児の1人平均むし歯							
12歳児における1人平均歯数							
15歳の一人平均むし歯数を減らす				6.46本→3本			
30歳児における1人平均歯数							
小学生のうち歯有歯茎の減少							91.7→80.0以下
中学生のうち歯有歯茎の減少							
う蝕予防として歯茎塗布の実施							
昼食後の歯磨きを実施している学校の割合							
⑥3歳までにフッ化物歯面塗布を受けたことのある者の割合の増加		不明→60.0以上			84.0→94.0以上	51.4→70.0	
3歳までにフッ化物歯面塗布を定期的に受けている者の割合							
3歳までにフッ化物歯面塗布を3回受けたことのある者の割合の増加							
少年期にフッ化物歯面塗布を受けたことのある者の割合							
乳児期にフッ化物歯面塗布を受けたことのある者の割合							
乳児期のフッ化物歯面塗布事業実施市町村の増加							
⑥学齢期におけるフッ化物配合歯磨剤使用者の割合の増加							
フッ化物配合歯磨剤使用者の割合の増加		不明→90.0以上	6-12歳不明→未設定	13年度調査→1割	中1年22.7→46.0以上	児童43.5→60.0以上	幼稚園・小学校17→増加
フッ化液口洗実施施設数							
集団でフッ素洗口を実施している施設の数を増やす					21施設→100施設		
フッ素洗口を実施している市町村数					4→全市町村		
フッ化物応用等、科学的根拠に基づいた歯科検診予防法の積極的推進と普及啓発(歯有歯茎)幼稚園におけるフッ化洗口の普及拡大							







# 糖尿病

	国	北海道	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	茨城	栃木	群馬	埼玉県	千葉県
◎成人の肥満者 (BMI≧25.0) の減少	男20-60代 24.3→15.0以下 40-60代 25.2→20.0以下		男37.3→15.0以下 38.2→20.0以下			無し	男全年齢24.6→59歳以下15.0 60歳以上20.0 女全年齢31.0→30-50歳代15.0 60歳以上20.0	20-60男26.6→15.0以下 40-60女23.1→20.0以下	男13.1→10.0				男20-60歳代 30.2→20.0以下 女40-60歳代 22.1→17.0以下
20代女性のやせ													
肥満度の割合													
1日 牛乳(脂質2.0%以上)の減少 適正体重を維持することができる食事を 理解している人の割合							小学生11.9 女9.9→7.0						
適正体重を維持している人の増加										栄養・食生活 参照			
30歳以上の過体重者と肥満者の合計の割合													
自分の適正体重を認識し、体重コントロールを 実践する人の割合													
体重を毎日測定している人の割合													
必要エネルギー量の120%以上を摂取して いる者の割合													
脂質エネルギー比率							男23.7 女25.3→20.0- 25.0(10代女30.0)			栄養・食生活 参照			
脂質エネルギー比率25.0以上の人の割合													
エネルギー摂取量が必要エネルギーの80- 120%の人の割合													
2割以上エネルギーの過剰摂取をしている 人の減少													
エネルギー所要量110%以上の者													
エネルギー過剰摂取者の割合													
エネルギー赤字率													
自分の必要エネルギーを知っている人の割合													
運動習慣者													
週3回、1回20分以上の運動をする人の割合													
週2回以上運動する者の割合							男23.9 女22.1→35.0						
運動を週1.2回している人の増加													
1日20分以上、週5回程度身体運動を実践 する者													
意思的に身体を動かすなど「体を動かすよ うな」か「かたがた」している人													
1週間に2日以上定期的に運動やスポーツ を行っている人(運動習慣者)の割合													
社会スポーツ施設数の増加													
運動ができる施設が身近にある													
食塩摂取量(1人1日当たりの平均)							13.9g→10g未満※40 歳以上男については 段階的に13→12g						
カリウム摂取量							男3035mg 女2767mg→3500mg						
運動が糖尿病予防にもたらす影響を知って いる人の割合													
2割以上が過度であると感じる人の減少													
自分にあったストレスの対処法を知り実践 している人の増加													
「節度ある適度な飲酒」としては、1日平均 純アルコールで約20g程度である旨の知識 を普及する													
食事時間が規則的な者の割合													
食事への配慮のある者の割合													
食事で腹八分目を心掛けている者の割合							男78.6 女88.6→100.0						
夕食過食者													
朝食欠食者													
ヘルシーメニューの利便と促進													
ヘルシーメニューの提供の増加													
ヘルシーメニューを提供している飲食店数 の増加													
福祉などにおける給食施設、レストラン、食 品売り場におけるヘルシーメニューの提供 比率													
適正な食事を摂ることができる人の増加													
量・質ともにきちんとした食事を摂っている 者の割合									182→200				
過食や脂肪の過剰摂取を控え、量・質とも にバランスのとれた食事をとるように心がけ ている													
量・質ともにきちんとした食事を摂るものの 割合を増加し、1日最低一食きちんとした食事を 家族二人以上で30分以上時間をかけて とるものの割合の増加												72.7→80.0以上	
量・質ともにきちんとした食事を摂るものの 割合を増加し、1日最低一食きちんとした食事を 家族二人以上で30分以上時間をかけて とるものの割合の増加													
外食栄養成分表示店													
栄養成分表示がされている加工食品													
メニューに栄養成分を表示している飲食店 の数													
栄養成分表示店指定数													
加工品や外食の栄養成分表示を参考にす る人の割合													
甘味飲料を毎日摂取する人の割合													
高コレステロール(221mg/dl以上)者の割合							男17.4→16.0 女30.7→20.0						
耐糖能異常者の割合													
食生活、身体活動及び飲酒習慣と糖尿病と の関わりに対する知識の普及													
自分の血糖値を知っている人の割合													
糖尿病の危険因子を知っている人の割合													
糖尿病を指摘された者のうち自分の食事や 運動の目安を知っている													
◎日常生活における歩数の増加	男8,202→9,200歩 女7,282→8,300歩		身体運動参照				今後調査→1000増加	男7000→8000 女6500→7500		身体運動参照			男7678→9100 女7074→8500
1日の歩数が4000歩未満の割合の減少													
1日10000歩以上歩いている人の割合													

# 糖尿病

項目	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
①定期健康診断等糖尿病に関する健康診断受診者の増加	4,573万人→5割以上の増加	779000人→1169000人以上	344600人→517000人以上	409→50.0(循環器病受診者占す)	無し		市町村171012人(地域6981人→5.0増加)	44.8→50.0	388564人→58万人以上	29.3万人→42.4万人以上	548000人→822000人
定期健康診断等糖尿病に関する健康診断受診率の増加											
過去1年において健診を受けたことがある人の割合											
健診受診者にヘモグロビンA1cの検査を実施する市町村											
基本健康診査におけるヘモグロビンA1Cの実施率											
事業所の健康受診率の向上											
基本検診を含む内科的健診受診率の向上											
老人保健事業基本健診受診率50.0以上の市町村の増加											
血液検査・検便検査を受けた人の割合											
健診実施事業の割合を増やす											
健診の精度管理及び評価											
定期健康診断・基本健康診査・人間ドックを利用する人											
②糖尿病検査における異常所見者の事後指導の徹底	男66.7女74.6→徹底		不明→100.0	徹底			今後調査→100.0				男76.4女81.5→100.0
糖尿病を指摘された者のうち現在治療を継続している者											
健診の事後指導の実施率											
健康診断の事後指導の実施											
高血糖者の中で治療中助している人の割合の減少											
健診において糖尿病(疑いを含む)を指摘される人の減少											
③2010年の糖尿病有病者を37.7%より減少させること	1080万人→1000万人以下		81000人→117800人	41,000人→38,000人以下(基準値の7%以上減)			22846人→生活習慣の改善がない場合32.000人程度と見込まれる糖尿病有病者を28,000人以下に減少		38000人→54800人		5.6→減少
基本健康診査における要医療率								9.6→8.0			
健診での糖尿病者の増加の抑制											
糖尿病受診率の減少											
薬医療者の医療機関未受診率									39.6→20.0		
糖尿病有病者の悪化防止の推進											
基本健康診査血糖検査「要医療」の割合											
基本健康診査血糖検査「糖尿病者(疑い含む)」の割合											
糖尿病による死亡者							年齢調整死亡率男6.4女4.2→減少				
糖尿病による死亡率											
④糖尿病有病者に対する治療継続の推進	45.0→100.0		54.4→100	不明→徹底					59.3→100.0		56.1→糖疑の徹底
糖尿病が強く疑われる者のうち治療を受けている者の割合を増やす											
糖尿病の可能性が高い人の減少		40歳以上でHbA1cが6.0%以上男6.8→7.4以下女3.7→4.2以下									
糖尿病または境界型といわれている人の割合の増加の防止											
⑤糖尿病の合併症の発症の減少	腎症による新規透析患者数1年に10,729人(糖尿病1年に3,000人)→減少		腎症10.2(糖尿病)24.4	網膜症による視覚障害者不明→減少					今後調査		
人工透析患者のうち糖尿病性腎症の割合		26.5→26.5以下									
新規透析導入者数											
糖尿病性腎症によって、新たに透析導入となった患者数の減少											
糖尿病性腎症患者数の減少											
糖尿病と言われた者のうち、眼底検査を受けたことがある者の割合											
糖尿病の合併症や予防などの情報提供を行っている市町村数											
糖尿病に関する個別健康教育を実施する市町村の割合		5.1→100.0					7→全69				
個別健康教育実施市町村の割合											
糖尿病予防に関する相談の場を提供する市町村数		42市町村→58市町村									
糖尿病予防に関する学習や活動の場を提供する機会											
糖尿病予防に関する学習や活動の場を提供する市町村数											
老人保健法における重点健康教育の実施											
糖尿病教室の実施市町村数											
糖尿病予防のための健康づくり支援体制の充実											
健診後保健指導の徹底											
予防健康教育を受ける機会											
指導者の資質向上のための研修会への年1回以上の参加											
指導者の資質向上のための研修機会を増やす											
専門家による栄養指導を受けたことがある											
糖尿病教育入院実施医療機関の割合											
一定基準の教育入院カリキュラム実施医療機関数											
患者会の数											
健康づくりボランティア団体の市町村組織											
糖尿病に関する自助グループを有する市町村数											
かかりつけ医による生活習慣指導											
空腹血糖検査110mg/dl以上											
空腹血糖110-129mg/dl以上の割合											
空腹血糖128mg/dl以上の割合											